

次期ごみ処理施設

ニュースレター

No4 2003.10

塩谷広域圏内でのごみ排出状況

住民団体の活動状況

住民参加の減量化・資源化計画

私たちが出している「ごみ」は、地元の人達の深いご理解とご協力により氏家町松島の塩谷広域環境衛生センターで処理されています。

この「ごみ」は、皆さんからの一般家庭や事業所から排出された「ごみ」であり、「可燃ごみ」・「不燃ごみ」・「粗大ごみ」の3つに分けられます。これらの「ごみ」は、一般廃棄物処理施設であります塩谷広域環境衛生センターで中間処理され、「可燃ごみ」からの焼却灰や、「不燃ごみ」・「粗大ごみ」からの不燃残渣^{さんさ}を、福島県小野町にて埋め立て処分、また、小山市の民間業者で路盤材の原料にするなどして、塩谷広域圏外の二箇所^{ふたところ}に最終処分を委託しております。

特に「可燃ごみ」にあつては、1日平均82 tで、多い日には100 t以上の「可燃ごみ」が搬入されてきます。

この「可燃ごみ」には、まだまだ減量化・資源化できるものがたくさんあり、先程述べた排出から最終処分までの「ごみ」量を減らすことができるのです。

ごみ処理施設を考える前に、私たちができる「ごみ減らし」を、もう一度考えていきましょう。



▲畑での「生ごみ堆肥」利用